

総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する  
安全・安心・リスク検討分科会小委員会の設置について

分科会等名：老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する  
検討小委員会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>化学兵器禁止条約の批准により、我が国は日本国内に埋設されている老朽化学兵器ならびに中国に旧日本軍が遺棄した化学兵器を安全に廃棄する義務を負う。これら老朽・遺棄化学兵器は発掘や廃棄処理の際、内蔵する火薬類の燃焼・爆発や有害な化学物質等の漏えいなど多くのリスクがある。そして、ヒ素を含む化学兵器が多い点で世界的に未経験な技術課題があるといえる。このため、火薬類の爆発防止やヒ素を含む処理残渣等の安全な保管など安全対策について学術的に評価し、必要な提言を行うことを目的とする。</p> <p>中国に遺棄された化学兵器は、各地での発掘・処理が進展し、大量の埋設が想定されているハルバ嶺地区の処理施設が2015年度から稼働したが、コロナ禍で中断しており、その再開と処理能力の増強が課題となっている。また、国内では屈斜路湖、福岡県苅田港や千葉市で回収された化学弾の廃棄処理が進められてきたが、今後も各地で発見が予想される。我が国が廃棄すべき化学兵器は全てが地中や水底に埋蔵されており、未確認の埋蔵地も懸念される。</p> <p>また、諸外国においても、国際化学兵器禁止条約機関（OPCW）のもとに化学兵器処理が進展している。このため、海外の状況も参照し、安全で効率的な廃棄の進捗を促し、実際に生じている問題点を学術的観点から指摘し助言を行う。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学兵器の安全な処理に関する総合的対策の指針</li> <li>2. ヒ素を含有する廃棄物の処理と安全対策</li> <li>3. 海外の化学兵器処理の現状・留意点</li> </ol> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和3年5月27日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	